

【自転車の交通ルールと安全な乗り方テスト】 解答・解説

問1	(×)	自転車についても、道路運送車両の保安基準で「適当な制動装置を備えなければならない。」と定められています。
問2	(×)	自転車についても、道路運送車両の保安基準で「適当な音響を発する警音器を備えていなければならない。」と定められています。
問3	(○)	正しい。
問4	(○)	正しい。
問5	(○)	正しい。
問6	(×)	自転車は、車道の左端を通らなければなりません。
問7	(×)	自転車は、原則として車道を通らなければなりません。
問8	(○)	正しい。
問9	(×)	自転車は、他の自転車（軽車両）と並んで走ってはなりません。
問10	(○)	正しい。
問11	(×)	交通の方法に関する教則では、「歩道でほかの自転車と行き違うときは、速度を落としながら安全な間隔を保ち、歩行者に十分注意して、対向する自転車を右に見ながらよけるようにしましょう」とされています。
問12	(○)	正しい。
問13	(×)	このような場合、直進し、左折できます。右折するときは、右折地点まで直進し、そこで向きを変え、待機することができます。
問14	(×)	近くに自転車横断帯がない場合、横断歩道を通行することができますが、横断歩道は歩行者の横断のための場所ですので、横断中の歩行者の通行を妨げるおそれがある場合は、自転車に乗って通行することはできません。
問15	(×)	自転車も一時停止しなければなりません。

【自転車の交通ルールと安全な乗り方テスト】 解答・解説

問16	(×)	黄色の灯火の意味は、「自転車は停止位置をこえて進行してはなりません。しかし、黄色の灯火に変わったときに停止位置に近づいているために安全に停止することができない場合は、そのまま進むことができる」となっています。
問17	(×)	自転車どうして事故を起こしたときも、負傷者を救護し、道路における危険を防止し、交通事故の状況などを警察官に届ける必要があります。
問18	(×)	自転車で交通事故を起こした場合、過失傷害罪などの刑事責任と被害者に対する損害賠償などの民事責任が生じます。
問19	(×)	自転車も一時停止標識がある場所では、一時停止して安全を確かめなければなりません。
問20	(×)	ブレーキやベル、ライトが故障または整備されていないなど、不備があるまま使用されているケースが見受けられます。 小さな不備でも、大きな事故につながる可能性があります。安全に運転するために必ず日常点検・定期点検を行い、整備した自転車に乗りましょう。
問21	(×)	歩道では、すぐ停止できるような速度で徐行し、歩行者の通行を妨げるおそれのある場合は一時停止する必要があります。自転車が歩道を通るときは、歩行者優先で通行しなければいけません。
問22	(○)	正しい。
問23	(×)	前照灯は、自分が前方の安全を確認するためだけでなく、他の人に自転車が走っていることを知らせるためにつけます。
問24	(○)	正しい。
問25	(×)	自転車で酒酔い運転した場合の罰則は「5年以下の懲役又は100万円以下の罰金」となっています。酒気帯び運転も禁止されています。